

米商進路だより



令和5年9月19日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第16号）

《 チャレンジ（就職編） 》

9月16日（土）から就職試験が解禁となりました。7月1日に求人票が公開となり、応募前の企業見学をして受験企業が決定し、履歴書の作成や面接練習を積み重ねて今日があるのです。進路激励会では、自分の将来を決める重大な試験を前にして緊張の面持ちでしたが、伊藤校長先生や3学年団からのメッセージを受けて、「頑張ろう」という気持ちになった人が多くいたのではないのでしょうか。

さて、受験は「度胸」という言葉をお伝えしておきます。試験で、予期せぬ質問があったり、何度も繰り返し練習をしたにも関わらず、緊張のあまり忘れてしまうこともあるかもしれません。平静を保つのが難しい状況にあっても、担任の先生やお世話になった方の励ましを思い出し、合格するという気持ちを忘れなければ吉報は届くものです。緊張の中にも、いつも通りの自分で対応して下さい。

下記の資料は、全国の有効求人倍率の上位と山形県の比較です。令和5年7月に厚生労働省が発表した求人倍率の高い県と山形県の比較です。コロナ禍からの経済活動の再開などによって人手不足の企業が求人を増やしている一方で、就職希望者の減少などから求人倍率が上がっていて、今年の高校生の就職活動はバブル期を超える「売り手市場」となっているのです。

企業が人手不足を解消するための手法として用いたのが「賃上げ」です。東京都のある会社では、高卒のベースアップを3万円行い、さらに2万円上積みして22万円に引き上げたところ、30人の募集に対して40人集まったところもあります。本校でも実施している企業説明会、ワクワクワーク等で企業を知るところがスタートであり、自分の個性にあった企業を探すのが第一歩です。

しかし、課題もあります。それは早期離職の問題です。厚生労働省調査で、2019年に高校を卒業して就職した人のうち、3年以内に離職した人の割合は35.9%に上りました。卒業して1年目の社員は先輩や上司と年齢が離れているケースが非常に多く、コミュニケーションがうまく取れなかったりしているのが現状です。歳が離れていても、仲間を作ってお互い相談や励まし合いをしながら成長してほしいと思います。

都道府県	求人数	求職者数	求人倍率	前年比
東京都	49,034	4,461	10.99	2.66上昇
大阪府	33,938	4,891	6.94	1.31上昇
広島県	10,155	2,356	4.31	0.75上昇
山形県	5,733	1,776	3.25	0.34上昇

※令和5年7月厚生労働省発表資料（8月に発表したハローワーク資料は4.13倍）

※本校は県内24名、県外5名が受験（圧倒的に地域企業を選ぶ割合が高い傾向）

《 チャレンジ（進学編） 》

9月1日（金）より総合型選抜試験の応募が開始されています。大学入試では一般選抜だけでなく、個々の能力を評価すべく総合型選抜を重視する学校が増加傾向にあります。大学入学共通テストを課す学校があることはあまり知られていません。各校の要項を確認し受験科目について、徹底的に調べる必要があります。進路指導室には、蛍雪時代という入試情報が掲載されている書籍があるので活用してください。

1. 東北農林専門職大学(山形県立、2024年4月開学)

来年、山形県に開学する公立大学です。学部は農林業経営学部であり、森林業の分野全般にわたる講義・演習と実習等が中心のカリキュラムとなりますが、簿記会計・マーケティング・観光学等も学ぶことができます。何より、公立大学なので1年間の授業料が535,800円で4年間では2,143,200円と国立大学と同じである授業料は魅力です。大学の“学び”について調べてみてはどうでしょうか???

2. 短期大学から4年制大学への編入

大学進学を考えている人への情報提供です。4年制大学を考えている人の中で、総合型並びに学校推薦型の場合は、選抜試験を受けるための条件がありハードルが高い（全商簿記1級以上、学習成績4.3以上等）のも事実です。そこで、短期大学で2年間勉強し、その後4年制大学への編入をすることができる短大があるので、Webページを参考にして各校の実績を把握してください。

学校名	編入先
山形県立米沢女子短期大学	山形大学、福島大学、東北学院大学、駒沢大学
國學院大學北海道短期大学部	國學院大學（東京）、他
山形県立産業技術短期大学校	山形大学工学部（令和7年4月より）、他

※米沢女子短期大学は公立・私立の指定校推薦制度あり

《 オープンファクトリー（報告） 》

9月15日（金）に3年生の商業科目選択者および1年生全員が本校周辺の企業を見学いたしました。また、16日（土）には、3年生9名がボランティアとして参加をして、各事業所の受付（案内含む）や販売スタッフとして活躍してくれました。校内で学修する内容とは違い、世代を超えて“お客様”と交流できたことは、本人の成長に多く繋がったと思います。ボランティアスタッフの皆様に感謝申し上げます。



左から東光酒蔵、花角味噌（味噌食べ比べ）、安部吉（縫製工場⇒米沢市城南）